

今月の一言

キーワード：なぜ

こどもの心は素直である。だからわからぬことがあればすぐに問う。“なぜ、なぜ”と。

こどもは一生懸命である。熱心である。だから与えられた答えを、自分でも懸命に考える。考えて納得がゆかなければ、どこまでも問いかえす。“なぜ、なぜ”と。

こどもの心には私心がない。とらわれがない。いいものはいいし、わるいものはわるい。だから思わぬものごとの本質をつくことがしばしばある。こどもはこうして成長する。“なぜ”と問うて、それを教えられて、その教えを素直に自分で考えて、さらに“なぜ”と問いかえして、そして一日一日と成長してゆくのである。

大人もまた同じである。日に新たであるためには、いつも、“なぜ”と問わねばならぬ。そしてその答えを、自分でも考え、又他にも教えを求め。素直で私心なく、熱心で一生懸命ならば、“なぜ”と問うタネは随所にある。それを見失って、きょうはきのうの如く、あすもきょうの如く、十年一日の如き形式に墮したとき、その人の進歩はとまる。社会の進歩もとまる。

繁栄は **”なぜ！”** と問うところから生まれてくるのである。

2004年6月25日

さいのう とおる

追伸：蒸し暑い日が続きます。体調管理を十分にして下さい。